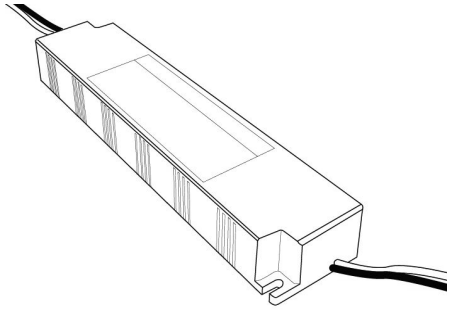
ARISTO JAPAN Inc. electronics mechanical products R&D and manufacturing

取扱説明書



ＬＥＤ電源装置　　LAV50-12

このたびは当社LED用電源をお買い上げいただきましてありがとうございます

安全に関するご注意

感電や火傷、漏電・発煙・発火・製品落下などの重大事故や、製品周囲の構造物損傷・製品故障などの損害を防ぐために、本製品の取り扱いや施工・ご使用にあたっては以下の内容を必ずお守りください。

※　いつでも読むことが出来る様に、この説明書は製品をご使用されるお客様にて必ず大切に保管してください。

⚠ 警告	●製品は仕様書・図面・取扱説明書や本体表示などの注意事項をあらかじめよくご確認・ご理解の上で、正しくご施工・ご使用ください。 ●設置作業は本取扱説明書に従い確実に行ってください。設置に不備があると感電、火災の恐れがあります。 ●引火性ガスや発火性のガスがある場所で使用しないでください。 ●設置の際は必ず、電気設備技術基準に準拠した設置工事を行ってください。 ●本製品を布や紙で覆ったり、周囲に燃えやすい物を置かないでください。故障や火災の発生原因となる事があります。 ●製品の分解や改造などは絶対に行わないでください。感電や故障の恐れがあります。尚、分解後の責任は負いません。 ●入力ケーブルを延長して設置する場合、できるだけ太いケーブルを使用し配線してください。 ●製品は許容された温湿度環境範囲内、あるいは筐体温度上限以下でお使いください。また、製品周囲は断熱材などで覆わないでください。 ●製品に万一、動作・点灯状態や外観の異常や煙や異臭の発生などが見られた場合には、ただちに使用を中止して、工事業者または販売元に交換または修理を依頼してください。
⚠ ご注意	●防塵防水についての保護等級IP66は初期の等級を示します。使用環境により性能が低下することがあります。 各部のケーブル接続は確実に行い、接続箇所には自己融着テープ・防水圧着端子・防水タイプ熱収縮チューブなどで充分な防水・絶縁の処理を行ってください。特に防水処理は、接続部分だけでなくケーブルの被覆・ジャケット部に至る広範囲に行う必要があります。 ●製品の取付場所の構造には製品の重量や固定力などの荷重に耐える充分な強度を確保してください。 ●製品を医療・航空機・列車・輸送・原子力・宇宙等の高信頼性が要求される機器には使用しないでください。 ●直射日光のあたる場所、水が掛かったり雨にさらされる場所では使用しないでください。 ●製品各部のケーブルで製品本体を吊下げたり、ケーブルを強く引っ張ったりしないでください。また、ケーブル被覆に工具や周辺部材などで傷をつけたり、ケーブルを製品と構造物の間に挟み込んだりしないでください。また、張力や鋭角の曲げが生じるケーブル配線はおやめください。 ●落雷による主電源線や構造物への雷サージの発生が懸念される場合には、製品への雷サージ印加の防止・保護の対策を充分に行ってください。 ●LED灯具の点灯・消灯を行うためのスイッチやブレーカー類は必ず、駆動用電源の入力（AC）側に設置して下さい。 ●入出力線を間違えないようにして下さい。出力に過電圧を印加すると故障・感電・火災の恐れがあります。 ●無線機器のアンテナに隣接するような設置はおやめください。電波障害を与えることがあります。 ●本取扱説明書の内容は予告なしに変更される場合があります。

1．仕様

型名			LAV50-12
入力	電圧範囲		100～277VAC(50/60Hz)
	力率		0.94@AC100V
	効率	%	84@AC100V
	電流	A	0.71(AC100V)/0.35(AC200V)
	突入電流	A	20A （AC230V印加時）
出力	最大電流	A	4.2
	電流範囲	A	0.83～4.2
	最大電力	W	50
環境	動作温度		-30 ～ +90 ℃
	保存温度		-40 ～ +85 ℃
	動作湿度		5 ～ 95 %RH
	保存湿度		5 ～ 95 %RH
製品重量		g	350
保護等級			IP66
安全規格			PSE
無償保証期間			3年

延長工事に使用する推奨ケーブル
一次、二次ケーブル　VCTF-0.75sq x 2C

保護回路動作　出力過電圧保護
出力過電流保護
出力短絡保護（自動復帰）
突入電流緩和

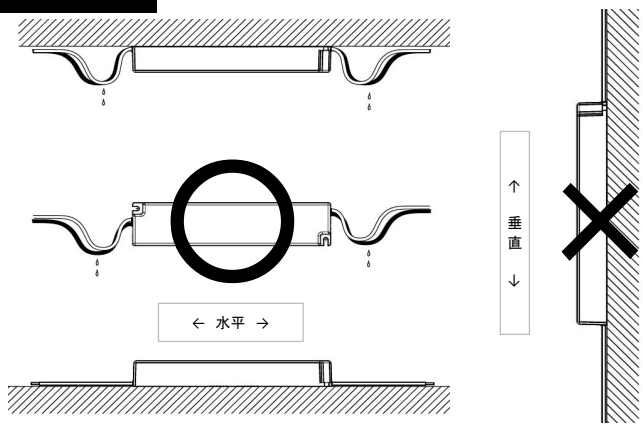
2. 取付方法

■ 事前に必ず、「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

構造物への取付

- M4ネジを使用し、取付穴2カ所全てに確実に固定してください。
- 製品とLED灯具との間、電源と電源との間には必ず50mm以上の間隔を空けてください。
- 電源の入力線を延長する場合、VCTF-0.75sq ／ AWG18以上の太いケーブルを使用してください。

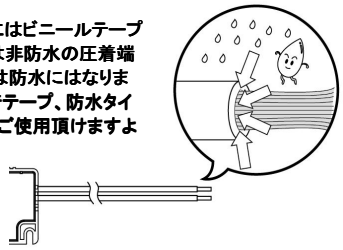
設置の向き



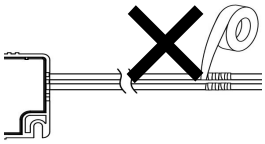
長期的な信頼性の確保のために、ケーブルを伝った水が駆動用電源上に溜まりにくくなるよう、出来るだけワイヤ引き出しが水平方向になるよう設置し、水がリード線を伝って、電源本体に入らないように配慮してください。

【注意】 ケーブルの結合について

製品の点灯・不点灯時、製品筐体内の空気圧の増減により、ケーブルの芯線部を伝って、製品内部に水が浸入しやすくなります。
ケーブルの結合部にはビニールテープを巻くだけ、あるいは非防水の圧着端子をカシメるだけでは防水にはなりません。必ず自己融着テープ、防水タイプ熱収縮チューブをご使用頂けますようお願いします。



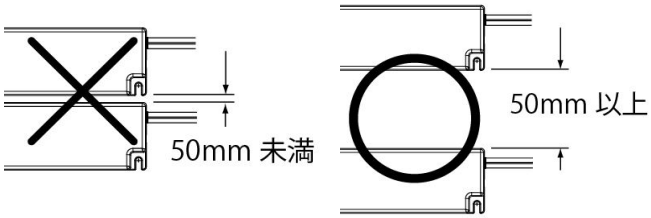
・結合部にビニールテープを巻くだけではダメ！



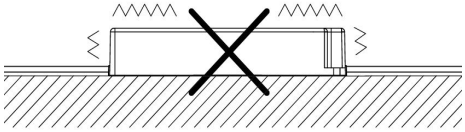
その他の注意事項

下記のような使い方はできません。ご注意ください。

● 電源を隣接させての使用

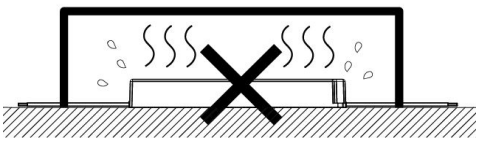


● 振動の多い場所での使用



振動の多い場所でご使用になりますと、内部部品の破損や、半田及び結線部の断線が発生するおそれがあります。

● 通気口の無い密閉空間での使用



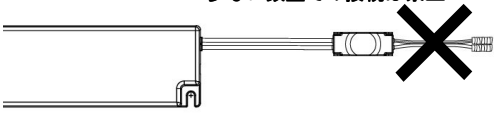
電源は熱の影響を受けやすい機器です。
複数設置する場合、隣接電源からは最低でも50mm以上は離してください。
また、通気口の無い密閉空間でのご使用はおやめください。

● 少さい負荷での使用

10W以下の小さな負荷でご使用になると、出力電圧が不安定になり、LEDが破損する可能性があります。必ず最小接続数量より多く接続してください。

製品	最小接続数量
モノライトH	12
モノライトL	24
モノライト赤	9
ペンタワイドIIICV	10

少ない数量での接続は禁止！！



3. 点灯しないとき

修理を依頼される前に、もう一度下記項目を確認してみてください。それでも解決しない場合や、ご不明な点はアリストジャパンまでお問い合わせください。

症状	原因
製品に繋がるＬＥＤ灯具が全て点灯しない	・正しい入力電圧が印加されていません。 → 正しい交流電源から給電されているかご確認ください。 ・正しい配線接続となっていません。 → 入力端子から給電されているか、負荷の極性が正しいかご確認ください。 ・製品の保護機能が動作しています。 → 負荷が短絡している場合や負荷が大きすぎる場合、過電流保護機能が動作します。
製品に繋がるＬＥＤ灯具の一部が点灯するが、残りの部分が点灯しない	・点灯していないLEDモジュールの極性が合っていません。 → ＬＥＤ製品に付属する取扱説明書を確認して下さい。
ＬＥＤは点灯するが、輝度不足のとき	・電源が接続できるLED灯具数の範囲を超えています。 → ＬＥＤ製品に付属する取扱説明書を確認して下さい。

2014年3月24日初版発行